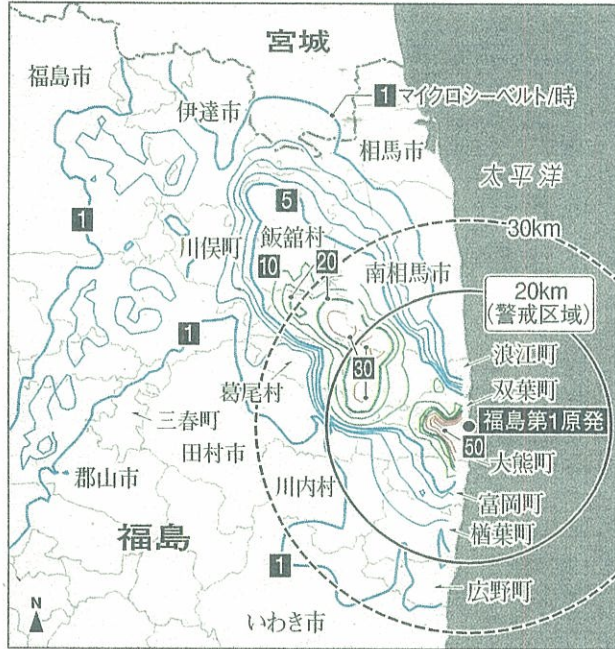


原発事故1ヵ月半

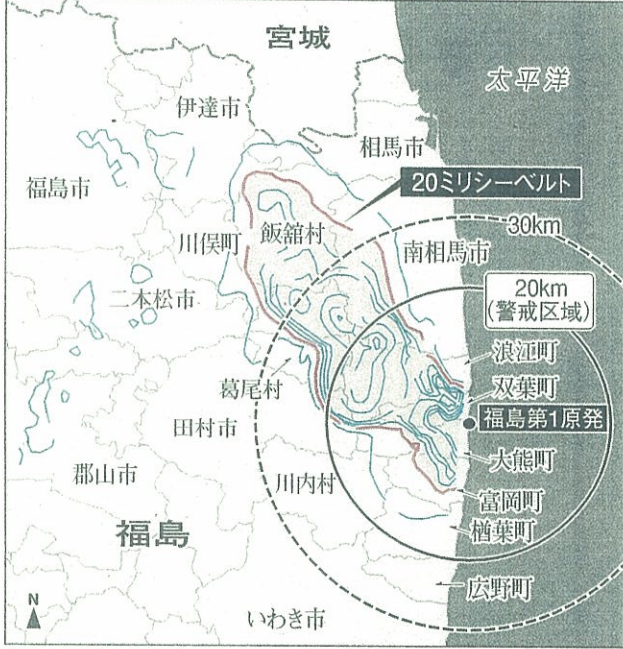
積算線量図を初公表

政府、東電 北西に帯、ばらつきも

福島第1原発周辺の放射線量分布
(4月24日時点。政府、東京電力の事故対策統合本部資料による)



事故後1年間の推定積算放射線量
(政府、東京電力の事故対策統合本部資料による)



30キロ圏外でも依然高く

政府と東京電力の事故対策統合本部は26日、福島第1原発事故を受け、周辺地域で計測した放射線量を基に作成した4月24日現在の放射線量分布マップを初めて公表した。放射線量を等高線のように表示。屋内退避区域外とされた、原発から半径30キロ圏外でも通常の数百倍に相当する毎時20ミリシーベルトの地域があるなど、依然として高い放射線量であることが裏付けられた。

測定地点ごとの数値や「緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム（SPEEDI）」による試算図は出されていたが、実際の測定値に基づき面的に評価したマップの公表は、事故後1ヵ月半たつて

ようやく実現した。公表の遅れで政府の情報収集と公開の姿勢が問われる。マップでは、原発の北西方向を中心に放射線量が高くなっている。一方、南西方向では警戒区域となった半径20キロ圏内でも、毎時1

【実測値に基づく各連続観測地点の積算線量の推定値】

地点のおおよその住所	積算線量の推定値 (3/12~4/21) (ミリシーベルト)	最新測定値 (ミリシーベルト/h)	来年3月 11日の積算 線量の推定値 (ミリシーベルト)
(1) 計画的避難区域			
浪江町赤字木柵平	44.5	0.0408	235.4
浪江町赤字木石小屋	25.3	0.0349	188.6
浪江町赤字木手七郎	23.8	0.0185	110.2
浪江町下津島萱深	10.6	0.0097	56.2
浪江町津島中沖	9.9	0.0082	48.2
浪江町津島大高木	4.6	0.0042	24.2
葛尾村上野川	2.5	0.0033	18.0
葛尾村落合字落合	2.6	0.0018	11.0
飯館村長泥	13.7	0.0102	61.7
飯館村草野大師堂	5.3	0.0063	34.8
飯館村八木沢	4.3	0.0047	26.3
飯館村二枚橋	2.0	0.0017	10.0
川俣町山木屋向出山	5.5	0.0040	24.2
川俣町山木屋大洪	3.7	0.0034	19.6
(2) その他の区域			
南相馬市原町区大原台畑	3.4	0.0026	15.6
南相馬市原町区馬場下中内	3.0	0.0019	11.9
南相馬市鹿島区西町	0.9	0.0010	5.5
南相馬市原町区高大豆柄内	0.7	0.0006	3.5
南相馬市鹿島区寺内本屋敷	0.6	0.0006	3.3
南相馬市原町区高見町	0.8	0.0004	2.8
川俣町鶴沢字川端	1.0	0.0015	8.1
川俣町鶴沢	1.2	0.0010	5.7
伊達市霊山町石田宝司沢	3.4	0.0038	21.2
伊達市霊山町石田彦平	2.4	0.0029	16.0
伊達市月館町	1.5	0.0007	4.8
伊達市霊山町大石字三ノ輪	1.3	0.0006	4.1
福島市大波滝ノ入	2.7	0.0017	10.6
福島市光が丘	2.1	0.0014	8.7
福島市杉妻町	1.4	0.0007	4.6
福島市荒井原宿	0.5	0.0004	2.4
いわき市小川町上小川	1.4	0.0011	6.6
いわき市久之浜町久之浜字北荒蒔	0.7	0.0009	5.0
いわき市大久町大久矢ノ目沢	1.0	0.0005	3.4
いわき市四倉町	0.6	0.0005	3.0
いわき市小川町高萩	0.5	0.0005	2.8
いわき市四倉町白岩保木田	0.7	0.0003	2.0
いわき市内郷御殿町	0.3	0.0003	1.7
いわき市川前町小白井字将監小屋	0.2	0.0003	1.6
いわき市三和町差塩	0.3	0.0002	1.0
楡葉町山田岡美し森	1.2	0.0008	4.7
広野町下北迫苗代替	1.0	0.0005	3.3
二本松市太田字下田	1.2	0.0009	5.4
二本松市針道中島	0.9	0.0008	4.7
二本松市田沢萩平	0.8	0.0008	4.5
郡山市豊田町	2.1	0.0017	10.1
郡山市大槻町長右エ門林	1.2	0.0012	6.8
川内村上川内花ノ内	0.9	0.0009	5.1
川内村上川内早渡	0.6	0.0004	2.5
川内村上川内宮渡	0.5	0.0004	2.3
田村市船引町新館下	0.5	0.0012	6.2
田村市常葉町山根富岡	0.8	0.0008	4.3
田村市常葉町山根鹿島	0.9	0.0006	3.6
田村市都路町古道	0.7	0.0006	3.5
田村市常葉町常葉内町	0.3	0.0006	3.1
田村市船引町南移水中内	0.6	0.0005	3.0
田村市船引町船引馬場川原	0.2	0.0003	1.7
田村市船引町上移字後田	0.5	0.0002	1.4
田村市都路町古道	0.3	0.0002	1.3
田村市常葉町西向屋形	0.4	0.0001	0.9
田村市船引町船引字小沢川代	0.3	0.0001	0.8
相馬市山上上並木	0.9	0.0006	3.7
相馬市中野寺前	0.6	0.0004	2.5
小野町小野新町館廻	0.3	0.0002	1.2

公表遅れが生んだ混乱

因となった。今回の事故では、運転員の避難や電源喪失などで原子炉のデータが取れなくなった上、周辺の放射線量を測るモニタリングポストも事故後に停止。放射線量を測るモニタリングポストも事故後に停止。放射線量を測るモニタリングポストも事故後に停止。

東日本大震災の被害状況は26日午後4時現在の県のまとめによると、死者は前日より11人増えて1402人となり1400人台に達した。行方不明者は1353人で前日より9人減った。避難者は8

賠償金仮払い開始

東京電力は26日、福島第1原発事故の避難住民に対して賠償金の仮払いを開始した。約100世帯の銀行口座などに振り込まれ、27日以降も仮払いを続ける。

東電によると、26日の閣議後の記者会見で、東電は25日夜までに4700世帯分から仮払いの請求書を受け取り、うち1300世帯の事務処理を終えたことを明らかにした。経産省は「仮払

産相は「仮払いの順調に進んで、東電による仮払いの額が100万円、半徑30キロ圏内か、屋内退避された住民約500世帯の仮払いは約500万円、半徑30キロ圏外で区域の住民もする方向。

被災者支援3000人雇用

県と市町村 基金50億円充てる

県は26日、東日本大震災や東京電力福島第1原発事故で避難生活を余儀なくさ



福島民友新聞社は26日、東日本大震災の津波や地震で大きな被害を受けた県内の被災地の現状を、ヘリコプターで上空から撮影した。石垣の一部が崩れ落ちた白河市の国指定史跡・白河小峰城跡は、城を囲む桜が満開。例年は多くの地元住民や観光客が足を運ぶ桜の名所だが、立ち入りができないうえに、人影はなく、震災の爪痕を今も残す。

【22面に写真ルポ】

災害に負けず頑

東日本大震災
県内被害状況
(26日午後4時現在)
死者 1402人